

30年度中四国 総会 閉会あいさつ

29年度運動の総括・事業報告・決算、並びに30年度運動方針・事業・予算計画、慎重にご議論いただき、可決頂きました事、誠に有難うございました。議案文章が長く、申し訳なく思いますが、ご容赦いただきましたこと、感謝いたしております。有難うございました。

全日本の総会は6月24・25日、仙台松島で開催します。ほぼ、この中四国の方針・事業計画と同様のものがございます。

どうか、文章が長い、などと云わないで、基本目標をシッカリ見据えながら、青少年を取り巻く背景、その中から生じている青少年問題を理解しながら、何故、そうなるのか、その原因をさぐり、どうすれば良いか、その解消方策を皆で力を合わせて探り出し、実行に移す、というのが、我らの育成運動であります。本日、その報告とそれを実現していくための事業を決定頂きました。後は実践あるのみです。

その実践の為には、先ず自分を磨かなければなりません。仲間と切磋琢磨し、信頼を強め、団結して事に当たらなければ、力は発揮できません。宜しく願い致します。

とは、言いましても私は、今年度で会長の任期が満了致します。次の会長さんの準備が必要な年であります。経過をみますと、私の前が愛媛の谷本会長、

その前が島根の福田会長、であったと記憶しておりますので、次は四国から選任する順番だと思います。私たちの会は連合会制度であり、中国・四国のブロックですから、交互に選出するのが、穏当かと思っておりますので慣例に従って、選出の準備をおねがいします。私も、鳥取県での中四国研究大会で依頼をうけましたので、9月に山口県で開催する研究集会には、候補者が内定できますように、四国の方々に協議をお願いします。

さて、30年度がスタートしました。私も、あと一年、精魂を込めて、育成運動・アド運動前身の為に全力を尽くしてまいる覚悟です。どうか、皆様のお力添え・ご支援・ご指導をお願いして、閉会のご挨拶と致します。

有難うございました。気を付けてお帰り下さい。

これから、決定事項に従って、育成運動を推進していくこととなりますが、私は、この運動は、何と言っても、自分を磨くことが一番大切だと考えています。私たちは様々な人と関わり、様々な問題と出会います。その時には、先ず「ありのままを理解し、受け入れる事」が一番大切であります。次に「何で、その問題が起こったのか」その要因や背景・経過を予断をいれなくて、考えてみます。その中に、必ず、解決のヒントがあるからです。

このありのままに受け入れて、ありのままを理解し、それを認めることは、中々できる事ではありませんが、それが自分磨きの入口であると私は考えています。何でそうなるのかを理解しようと思えば、様々な勉強も必要かもしれません。一人ひとり顔が違うように、生きてきた歴史・そこから生き方・考え方・価値観が異なります。自分と同じ人間は一人もいないのですから・・・。しかし、この、ありのままを受け入れることをしなければ、解決の糸口は見つかりません。そして「本当にこのままで良いか？」を考え「このままでは良くない」と考えたら「では、どうすれば良い」とその解決方策を考えます。一人では難しい事が多くありますから、仲間と共に考えます。

更に、地域社会に起因すること、つまり社会的な背景が大きく関わっていることもあります。私がこのアド運動を「我づくりを積み上げて、青少年を中心に据えた、社会づくり・国づくりを」とのスローガンに上げているのは、このためです。

それを解決するのは、自分では無く、問題を抱えた人でありますから、その人が、その気にならなければ、